

法 令 試 験 問 題

事業者名 及び 受験者氏名		採点	
---------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

- (1) 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、不当な運送条件によることを求めている。
()
- (2) 一般旅客自動車運送事業者は、運行管理者がその業務として行う助言を尊重しなければならない。
()
- (3) 一般貸切旅客自動車運送事業廃止届出書には、「廃止する理由」を記載する必要がある。
()
- (4) 乗車定員十一人以上の自動車を使用する者は、その自動車の外側に、使用者の氏名、名称又は記号その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。
()
- (5) 一般旅客自動車運送事業を営もうとする者は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。
()
- (6) 運行管理者は、法令に定める方法で行った日常点検の結果に基づき、運行の可否を決定しなければならない。
()
- (7) 旅客が運送を申し込む際の運送申込書は、一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款に規定されている。
()

(8) 日々雇い入れられる者や二月以内の期間を定めて使用される者は貸切バスの運転者として選任できない。

()

(9) 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の連続運転時間は、3 時間を超えないものとする、と定められている。

()

(10) 「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」は、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、単純な価格比較での選定を促すことを目的としている。

()

(11) 事業者は、運行ごとに運行指示書を作成し、かつ、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行うとともに、これを当該運転者に携行させなければなりません。では、下記の中で運行指示書に記載する必要のある事項を選び、該当する事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。

①乗務員等の氏名 ()

②営業所の名称 ()

③運送契約の相手方の氏名又は名称 ()

④乗務員等の休憩地点及び休憩時間 ()

⑤運賃及び料金額 ()

⑥運行の開始及び終了の地点及び日時 ()

(12) 事業者の事業用自動車の運転者が遵守しなければならない事項として、法令で定められた事項には○印を、そうでない事項には×印を () 内に記入しなさい。

①道路運送車両法の規定による点検又はその確認をすること ()

②運行表を携行すること ()

③乗務を終了したときは、交替する運転者に対し、乗務中の事業用自動車、道路及び運行状況について通告すること ()

④運転操作に円滑を欠くおそれがある服装をしないこと ()

【選択問題】

次の文章の（ ）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

- (1) 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が旅客自動車運送事業の許可の取消しを受け、取消しの日から()年を経過していない者に対しては、国土交通大臣は一般貸切旅客自動車運送事業の許可をしてはならない。

ア. 1 イ. 3 ウ. 5

- (2) 旅客自動車運送事業者は、()以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けさせなければならない。

ア. 六十歳 イ. 六十五歳 ウ. 七十歳

- (3) 事業者は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その()前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。

ア. 30日 イ. 3ヶ月 ウ. 6ヶ月

- (4) 旅客自動車運送事業者は、()に対し、輸送の安全及び旅客の利便を確保するため誠実に職務を遂行するよう指導監督しなければならない。

ア. 乗務員 イ. 従業員 ウ. 運行管理者

- (5) 事業者は、氏名及び住所を明らかにした者から運輸に関する苦情の申出を受け付けた場合、一定の事項を記録し、かつ、その記録を()間保存しなければならない。

ア. 3ヶ月 イ. 6ヶ月 ウ. 1年

- (6) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を終了した運転者に対し対面により点呼を行い、当該事業用自動車、道路及び()について報告を求めなければならない。

ア. 運行の状況 イ. 健康状態 ウ. 運賃収入

- (7) 一般旅客自動車運送事業者は、発地及び着地()その営業区域外に存する旅客の運送をしてはならない。

ア. のいずれもが イ. のどちらかが ウ. に関係なく

- (8) 事業者は、事業年度の経過後100日以内に（ ）を行政庁に提出する義務がある。

ア. 輸送実績報告書 イ. 事業報告書 ウ. 事故報告書

- (9) 事業用自動車の運行により生じた旅客その他の者の財産の損害を賠償することによって生ずる損失にあつては、一事故につき（ ）以上を限度額としててん補することを内容とするものであること。

ア. 二百万円 イ. 二千万円 ウ. 無制限

- (10) 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後（ ）以内に、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報であつて国土交通大臣が（ ）で定める事項について、インターネットの利用その他の適切な方法により（ ）しなければならない。

ア. 30日 イ. 100日 ウ. 1年 エ. 届出 オ. 告示
カ. 命令 キ. 報告 ク. 公表 ケ. 道路運送法 コ. 回答

- (11) 道路運送車両法は、道路運送車両に関し、（ ）についての公証等を行い、並びに安全性の確保及び（ ）その他の環境の保全並びに整備についての（ ）を図り、併せて自動車の整備事業の健全な発達に資することにより、公共の福祉を増進することを目的とする。

ア. 所有権 イ. 保安基準 ウ. 運行の安全 エ. 走行距離 オ. 技術の向上
カ. 迅速化 キ. 重大な事故 ク. 点検 ケ. 公害の防止 コ. 公共の福祉

- (12) 自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ（ ）で定めるところにより（ ）を表示しなければ、運行の用に供してはならない。

ア. 予備検査証 イ. 道路運送法 ウ. 国土交通省令 エ. 運送約款 オ. 告示
カ. 車検証 キ. 通達 ク. 料金表 ケ. 検査標章

【筆記問題】

(1) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、省令に掲げる業務の適確な実行及び () の遵守について適切な指導監督をしなければならない。

答. _____

(2) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

自動車運送事業の用に供する自動車は () ごとに定期点検整備をしなければならない。

答. _____

(3) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

「運送事業者に期待される安全管理の取組」として、事業者は、輸送の安全を確保するため、事故、() 情報等の定義及び収集手順を定め、それらの情報を収集する。

答. _____

法 令 試 験 問 題 模範解答

事業者名 及び 受験者氏名		採点	
---------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

1 点 × 2 0 = 2 0 点

- (1) 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、不当な運送条件によることを求めている。 (道路運送法第30条)
(○)
- (2) 一般旅客自動車運送事業者は、運行管理者がその業務として行う助言を尊重しなければならない。 (道路運送法第23条の5)
(○)
- (3) 一般貸切旅客自動車運送事業廃止届出書には、「廃止する理由」を記載する必要がある。 (施行規則第25条)
(○)
- (4) 乗車定員十一人以上の自動車を使用する者は、その自動車の外側に、使用者の氏名、名称又は記号その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。 (道路運送法第95条)
(○)
- (5) 一般旅客自動車運送事業を営もうとする者は、国土交通大臣の認可を受けなければならない。 (道路運送法第4条)
(×)
- (6) 運行管理者は、法令に定める方法で行った日常点検の結果に基づき、運行の可否を決定しなければならない。 (道路運送車両法施行規則第32条第1項第2号)
(×)
- (7) 旅客が運送を申し込む際の運送申込書は、一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款に規定されている。 (一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款第5条)
(○)

(8) 日々雇い入れられる者や二月以内の期間を定めて使用される者は貸切バスの運転者として選任できない。(運輸規則第36条)

(○)

(9) 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の連続運転時間は、3時間を超えないものとする、と定められている。(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第5条第1項)

(×)

(10) 「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」は、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、単純な価格比較での選定を促すことを目的としている。(輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン I-1-(1))

(×)

(11) 事業者は、運行ごとに運行指示書を作成し、かつ、これにより事業用自動車の運転者に対し適切な指示を行うとともに、これを当該運転者に携行させなければなりません。では、下記の中で運行指示書に記載する必要のある事項を選び、該当する事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。(運輸規則第28条の2)

①乗務員等の氏名 (○)

②営業所の名称 (×)

③運送契約の相手方の氏名又は名称 (○)

④乗務員等の休憩地点及び休憩時間 (○)

⑤運賃及び料金額 (×)

⑥運行の開始及び終了の地点及び日時 (○)

(12) 事業者の事業用自動車の運転者が遵守しなければならない事項として、法令で定められた事項には○印を、そうでない事項には×印を () 内に記入しなさい。(運輸規則第50条)

①道路運送車両法の規定による点検又はその確認をすること (○)

②運行表を携行すること (×)

③乗務を終了したときは、交替する運転者に対し、乗務中の事業用自動車、道路及び運行状況について通告すること (○)

④運転操作に円滑を欠くおそれがある服装をしないこと (○)

【選択問題】

次の文章の（ ）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

1点×17＝17点

- (1) 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が旅客自動車運送事業の許可の取消しを受け、取消しの日から（ ウ ）年を経過していない者に対しては、国土交通大臣は一般貸切旅客自動車運送事業の許可をしてはならない。（道路運送法第7条）

ア. 1 イ. 3 ウ. 5

- (2) 旅客自動車運送事業者は、（ イ ）以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けさせなければならない。（運輸規則38条）

ア. 六十歳 イ. 六十五歳 ウ. 七十歳

- (3) 事業者は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その（ ア ）前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。（道路運送法第38条）

ア. 30日 イ. 3ヶ月 ウ. 6ヶ月

- (4) 旅客自動車運送事業者は、（ イ ）に対し、輸送の安全及び旅客の利便を確保するため誠実に職務を遂行するよう指導監督しなければならない。（運輸規則第2条）

ア. 乗務員 イ. 従業員 ウ. 運行管理者

- (5) 事業者は、氏名及び住所を明らかにした者から運輸に関する苦情の申出を受け付けた場合、一定の事項を記録し、かつ、その記録を（ ウ ）間保存しなければならない。（運輸規則第3条）

ア. 3ヶ月 イ. 6ヶ月 ウ. 1年

- (6) 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を終了した運転者に対し対面により点呼を行い、当該事業用自動車、道路及び（ ア ）について報告を求めなければならない。（運輸規則24条）

ア. 運行の状況 イ. 健康状態 ウ. 運賃収入

- (7) 一般旅客自動車運送事業者は、発地及び着地（ ア ）その営業区域外に存する旅客の運送をしてはならない。（道路運送法20条）

ア. のいずれもが イ. のどちらかが ウ. に関係なく

- (9) 事業者は、事業年度の経過後100日以内に（イ）を行政庁に提出する義務がある。（報告規則2条）

ア．輸送実績報告書　イ．事業報告書　ウ．事故報告書

- (9) 事業用自動車の運行により生じた旅客その他の者の財産の損害を賠償することによって生ずる損失にあつては、一事故につき（ア）以上を限度額としててん補することを内容とするものであること。（旅客自動車運送事業者が事業用自動車の運行により生じた旅客その他の者の生命、身体又は財産の損害を賠償するために講じておくべき措置の基準を定める告示）

ア．二百万円　　イ．二千万円　　ウ．無制限

- (10) 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後（イ）以内に、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報であつて国土交通大臣が（オ）で定める事項について、インターネットの利用その他の適切な方法により（ク）しなければならない。（運輸規則第47条の7）

ア．30日	イ．100日	ウ．1年	エ．届出	オ．告示
カ．命令	キ．報告	ク．公表	ケ．道路運送法	コ．回答

- (11) 道路運送車両法は、道路運送車両に関し、（ア）についての公証等を行い、並びに安全性の確保及び（ケ）その他の環境の保全並びに整備についての（オ）を図り、併せて自動車の整備事業の健全な発達に資することにより、公共の福祉を増進することを目的とする。（道路運送車両法第1条）

ア．所有権	イ．保安基準	ウ．運行の安全	エ．走行距離	オ．技術の向上
カ．迅速化	キ．重大な事故	ク．点検	ケ．公害の防止	コ．公共の福祉

- (12) 自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ（ウ）で定めるところにより（ケ）を表示しなければ、運行の用に供してはならない。（道路運送車両法第66条）

ア．予備検査証	イ．道路運送法	ウ．国土交通省令	エ．運送約款	オ．告示
カ．車検証	キ．通達	ク．料金表	ケ．検査標章	

【筆記問題】

1 点 × 3 = 3 点

(1) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客自動車運送事業者は、その運行管理者に対し、省令に掲げる業務の適確な実行及び () の遵守について適切な指導監督をしなければならない。
(運輸規則第48条の3)

答. 運行管理規程

(2) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

自動車運送事業の用に供する自動車は () ごとに定期点検整備をしなければならない。(道路運送車両法48条)

答. 3ヶ月

(3) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

「運送事業者に期待される安全管理の取組」として、事業者は、輸送の安全を確保するため、事故、() 情報等の定義及び収集手順を定め、それらの情報を収集する。(安全管理の進め方に関するガイドライン・事故情報)

答. ヒヤリ・ハット